

基地関係特別委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 平成31年2月8日（金）

午前10時00分 開会

午前11時08分 閉会

○ 場 所 第1常任委員会室

○ 出席委員（9名）

委員長	知名 康 司
委員	宮 城 克
委員	平安座 武志
委員	真喜志 晃一
委員	上 里 広 幸

委員	石 川 慶
委員	桃 原 朗
委員	栄 田 直 樹
委員	玉 城 健 一 郎

議長	上 地 安 之
----	---------

○ 欠席委員（1名）

副委員長	桃 原 功
------	-------

○ 委員外議員（0名）

○ 説明員（2名）

基地政策部 次 長	多 和 田 功
--------------	---------

基地渉外課 基地渉外係長	吉 村 純
-----------------	-------

○ 議会事務局職員出席者（1名）

議事担当 主 査	大 城 拓 也
-------------	---------

○ 協議案件

外来機による騒音被害について

基地関係特別委員会 会議録（要旨）

平成 31 年 2 月 8 日（金）

○知名康司 委員長 おはようございます。ただいまから基地関係特別委員会を開会いたします。

（開会時刻 午前 10 時 00 分）

【協議事項】

外来機による騒音被害について

○知名康司 委員長 最近、嘉手納基地の改修の影響で、F-18、F-15 のジェット戦闘機を初めとする外来機が普天間飛行場へ飛来するようになったことで、市内の騒音被害が深刻な状況となり、市民からの苦情も相次いでおり、数日前には市長が沖縄防衛局へ抗議を行っている。それに対する議会の対応を協議するため、当委員会の開会要請があり、本日の委員会招集となった。まず、市当局より外来機飛来の現状等を伺いたい。

～現状説明～

○基地政策部次長 普天間飛行場の騒音については、昨年から外来機を含めた騒音がひどくなっており、昨年 11 月に沖縄防衛局に外来機飛来の制限等の要請を行っている。また、嘉手納飛行場の改修に伴い普天間飛行場への外来機の飛来が相次いでおり、市民からの苦情が多く来ているため、ことしの 2 月 5 日に再度沖縄防衛局へ抗議要請を行った。

○基地渉外係長 本日配付した資料は、沖縄防衛局より提供されたもので普天間飛行場における航空機の離着陸等状況の 11 月、12 月分、1 月～2 月 1 日までの外来機の飛来状況の資料となっている。基地政策部においては、外来機が飛来するごとに沖縄防衛局へ状況照会を行い、あわせて飛来制限について申し入れを行っており、防衛局はそれを受けて米軍側へ申し入れを行ったとの回答を得ている。11 月以降については、外来機の飛行が相次いだため、市で外来機の飛行状況を把握しており、時間、機種、訓練状況を電話やメールで随時確認をしている。外来機の飛行状況については、平成 29 年以降は、沖縄防衛局が普天間飛行場における航空機の離着陸等状況を確認して月報を作成し、それに基づき本市も報告を受けており、本日配付した資料がそれに該当する。資料を確認すると、外来機のうち F A-18D と F A-15

Bがジェット戦闘機であり、当該戦闘機の離着陸時には100デシベル以上の騒音が確認されている。11月の状況としては、全体の離着陸回数が計1,033回、そのうち常駐機が817回、外来機が216回となっている。普天間飛行場における航空機騒音規制措置にて制限されている22時から翌朝6時までの離着陸は計20回との報告を受けている。12月は、全体の離着陸回数が計979回、そのうち常駐機が844回、外来機が135回となっている。普天間飛行場における航空機騒音規制措置にて制限されている22時から翌朝6時までの離着陸は計19回との報告を受けている。また、もう1枚の資料は、1月以降の資料が沖縄防衛局からはまだ提供がないため、1月から2月1日までの外来機飛来があった際に騒音が大きかったものを市独自で確認・作成した資料である。測定場所は上大謝名で、100デシベル超の騒音のあった時間、機種等を記載している。100デシベルの音量を例にすると電車のガード下、110デシベルが2メートル先の自動車のクラクション、120デシベルが飛行機のエンジン近くとされている。1月3日から2月1日までの約1カ月の間に、100デシベルを超えた日数は10日あり、回数は28回あった。1月17日には、F A-18Dの飛来により最大122.5デシベルが記録されている。現在のところ、12月7日午前8時31分にF-35Bが飛来した際に123.7デシベルが測定されており、これが今年度における最大値となっている。

～質疑・答弁～

- 平安座武志 委員 市への苦情件数について伺いたい。
- 基地渉外係長 11月が73件、12月が56件、1月が55件となっている。今年度における総数は2月5日現在で538件となっている。
- 平安座武志 委員 10月以前の件数はどうだったのか。
- 基地政策部次長 資料を提供いたしたい。ただ、11月は今年度の中で突出して苦情が多かった。
- 石川慶 委員 11月の外来機飛来は合計で216回とのことだが、9月、10月はどうだったのか。
- 基地渉外係長 9月が56件、10月が60件となっている。
- 石川慶 委員 11月がふえた要因はなにか。
- 基地渉外係長 外来機が飛来するたびに沖縄防衛局へ照会を行っており、その際には飛来の目的も合わせて照会しているが、防衛局からは正確な回答は得られていない状況である。増の要因については嘉手納飛行場の改修等の影響もあるかもしれないが、はっきりしたことは不明である。

- 石川慶 委員 市長の抗議の際にその確認はしたのか。
- 基地渉外係長 市長からは嘉手納飛行場の補修を理由に飛来されるのは困るとの話があった。
- 石川慶 委員 2月5日の抗議要請文を提供いただきたい。
- 基地政策部次長 提供いたしたい。
- 宮城克 委員 市長の要請の概要を伺いたい。
- 基地政策部次長 普天間飛行場への外来機の飛来による騒音被害の常態化についてというタイトルで、まちのど真ん中にある普天間飛行場において、特にジェット戦闘機をはじめとする外来機の飛来に伴う騒音は、市民生活に甚大な影響を与えるものであり、昨年11月にも抗議・要請を行っている。しかし、1月には上大謝名地区において最大122.5デシベルの騒音が測定されており、何ら改善がみられず、常態化しているのは極めて遺憾であり、騒音被害は断じて容認できない。騒音被害に対し抗議するとともに、市民生活への配慮を米軍側へ申し入れてもらいたい。そして、普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還、速やかな運用停止を実現してもらいたいとの内容であり、沖縄防衛局長へ抗議・要請を行った。
- 真喜志晃一 委員 1月15日にF A-15の飛来記録があるが、F-15とは別の機種と理解してよいか。また、同月18日のE-3Cは11月、12月の記録には見えないが、新たに飛来した機種なのか。そして、この2機種は嘉手納基地所属と理解してよいか。
- 基地渉外係長 そのとおりである。
- 石川慶 委員 市内の学校は卒業式シーズンを迎えるが、式典が騒音で中断したケースがあったか伺いたい。
- 基地政策部次長 騒音で少しの間中断してあいさつがおくれた等のケースがあったことは承知している。
- 平安座武志 委員 2月1日のF A-18の飛来の際、おそらくその振動で車の防犯ブザーが鳴る音が上大謝名付近ではあちらこちらで聞こえた。そういった苦情は市には寄せられているのか。
- 基地政策部次長 2月1日にはブザーに関する苦情はないが、外来機飛来の苦情は多数寄せられた。ブザーに関してはその因果関係は確かではないが、そういう事例もあることは承知している。
- 宮城克 委員 オスプレイが配備された際には電波障害が起こり、番組が録画できなかったとの苦情があった。それは現在もあるのか。
- 基地政策部次長 現在もその苦情はある。直接見ている番組だけでなく、電波障害により録画ができなかったとの苦情がある。オスプレイ配備の際に沖縄防衛局でも

対策を取っているが、現在、沖縄防衛局、総務省通信事務所、宜野湾市、浦添市の4者でもう一度調査をしているところであり、その結果をもとに沖縄防衛局と調整する予定である。防音対策に加え、電波障害も市民から対策を求める苦情・要望が多いことから今後も国等へ対策を要望していきたい。

- 宮城克 委員 生活のさまざまな面において弊害が出ているということで理解する。
- 玉城健一郎 委員 先ほどの石川慶委員の質疑にもあったが、これまで飛来の目的を沖縄防衛局へ照会しても回答はもらえなかったのか。
- 基地渉外係長 そのとおりである。
- 玉城健一郎 委員 外来機の飛来について、離着陸訓練、いわゆるタッチアンドゴーを実施しているようだが、その訓練内容も返答はないのか。
- 基地政策部次長 機会ごとに沖縄防衛局へ問い合わせはしているが、やはり訓練内容については一切返答できないとされている状況である。市としても再三照会はしているが明確な返答はない。そこで、市としても駐機している場合と、タッチアンドゴー等の訓練を行っている場合に分けて確認しているが、やはりタッチアンドゴーの訓練が一番騒音がひどく、しかも何度も繰り返されるため中止要請等を行っているがそれでも訓練が繰り返されているのが現状である。
- 上里広幸 委員 訓練内容の照会に返答がないのは普天間基地のみなのか。嘉手納基地に関してはどうか。
- 基地政策部次長 基地を抱えている他市町村に確認したところ、ほとんどのところが訓練内容等について返答はないとのことだった。
- 上里広幸 委員 他県の状況はどうか。県内自治体と差があるのか。
- 基地政策部次長 基地のある県外自治体が視察等にきた際に話を聞いた範囲では、やはり訓練内容等についての返答はないとのことだった。
- 上里広幸 委員 苦情のあった市内区域を特定することは可能か。
- 基地政策部次長 業務時間中に受けた苦情については、できるだけ区域を確認するようにしており、業務時間外でも24時間受け付けを行い、その際にも区域確認をしているが、お答えいただけない場合もある。お答えいただけた場合は記録・集計しているが、やはり滑走路の延長上である上大謝名、野嵩、普天間付近が一番多いようである。さらに最近は飛行ルートに動きがあるのか真志喜、大山近辺も多くなっており、長田、宜野湾付近も多くなっている。
- 上里広幸 委員 行政区ごとに細かく記録できるように、飛行ルートが変わった際にもすぐに対応できるよう市民の理解も得ながら記録を残せるようにしていただきたい。
- 基地政策部次長 そのように努めてまいりたい。

- 桃原朗 委員 昨年の11月からことし2月1日までに538回の外来機飛来や、タッチアンドゴーの訓練があり、1月17日には122.5デシベルの騒音があった。嘉手納飛行場の改修で外来機飛来がふえており、さらに常駐機も夜の11時、12時までエンジン調整等の音が普天間の住宅地まで聞こえており、デシベルが小さいとはいえ問題と考える。市長も抗議行動をしており、議会としても行動に移していいのではないか。
- 基地政策部次長 外来機、特にジェット戦闘機の飛来は容認できず、常駐機も飛来自体は午後10時までには終えているが、エンジン調整を午後11時ごろまで行っているようであり、その騒音も50～60デシベル程度が測定されている。市としてもこれらの夜間騒音を含めて騒音に対してはもう少し厳しく抗議をし、また他の対策も検討していきたいと考えている。
- 玉城健一郎 委員 外来機の所属、駐機場所等について、外来機の写真等も含めた資料を提供いただきたい。
- 基地政策部次長 調べられる範囲もあることから、こちらの資料を確認して提供したい。
- 栄田直樹 委員 苦情の件数が538件とのことだが、上里広幸委員からもあったように行政区別に記録するのはいいことだと思うが、教育施設や老人ホーム等の施設と一般の市民とはどちらの苦情が多いのか。
- 基地政策部次長 施設等の苦情に関してはそれほど多くはなく、ほとんどが一般市民からのものとなっており、97～98%が一般市民のものである。那覇市、中城村等の市外からも多い。
- 栄田直樹 委員 石川慶委員への答弁で、学校の行事等が中断したケースがあったとのことだが、病院で手術等が中断したという苦情はないか。
- 基地政策部次長 直接そういった苦情を受けたことはない。学校等は直接沖縄防衛局等にイベントがある等の調整をしているようであり、その中でも騒音がある等は新聞報道等で把握しており、いろいろな形での被害はあるものと認識している。
- 栄田直樹 委員 病院の手術室等は特殊な部屋となっておりそういった被害はないのかもしれないが、先日参加した学校のオリエンテーションでは騒音のために一時中断があった。また、保育園等では昼寝の時間等で騒音被害を受けているようである。そういった詳細がわかるかと思い質疑した。

○知名康司 委員長 休憩いたします。(休憩時刻 午前10時41分)

○知名康司 委員長 再開いたします。(休憩時刻 午前10時42分)

- 上地安之 議長 嘉手納基地周辺の沖縄市、嘉手納町、北谷町の各議会の最近の抗議決議等の状況、そして伊江島の滑走路の訓練状況、嘉手納飛行場の改修前と現在の訓練状況について今後の参考のために資料提供をお願いしたい。
 - 基地政策部次長 他自治体のこともあるので、確認の上、集められるものは提供いたしたい。
 - 平安座武志 委員 委員各位への要望として、県民投票のこともあり、普天間飛行場がクローズアップされており、この問題に関しては本来国、県、市で連携して対応していくべきと理解しているが、市民の負託を受けた我々市議会議員も静観するだけでなく、何らかの行動に移していくべきではないかと考える。基地について議論を深めていくべきと考えている。
 - 桃原朗 委員 1月29日に緑ヶ丘保育園の件で各派代表者により、沖縄防衛局、外務省沖縄担当大使へ抗議要請を行ったが、現在外来機の騒音がひどく、空軍から来た外来機は意思疎通が不足しており、定められた経路を飛行しないのではないかと懸念があり、来てほしくない旨を伝えた。沖縄市や嘉手納町で落下傘降下訓練がある等の影響もあると思うが、当委員会でも具体的な行動についてしっかりと議論を深めてほしいと考える。
-

- 知名康司 委員長 休憩いたします。(休憩時刻 午前10時48分) ※説明員退席
 - 知名康司 委員長 再開いたします。(休憩時刻 午前10時49分)
-

- 知名康司 委員長 本件の取り扱いについて議論をしていきたい。市民生活に様々な影響を及ぼしている騒音、特にジェット機等の外来機騒音が激しい状況であり、嘉手納基地の修繕が7月ごろまで予定されていることからまだ続く可能性がある。これを今後議会としてどうしていくべきか諮っていきたい。今後の取り扱いとしては、抗議を含めてさまざまな形があると思うが、そこを議論してまいりたい。
- 玉城健一郎 委員 本委員会で抗議をする場合、本会議で意見書等を採択してから抗議に行く形になっているのか、本委員会で意見書等を採択してそのまま抗議に行くのかを確認したい。
- 事務局 意見書等は議会名で出すことになるので、本会議にて採択をする必要がある。
- 玉城健一郎 委員 普天間基地の常駐機に加え、外来機の飛来による騒音が市民生活を脅かしており、全会一致で意見書等を可決して、議長を先頭に沖縄防衛局、外務省、在沖米国総領事、第三海兵遠征軍司令官・沖縄地域調整官に抗議をすべきと考える。

- 石川慶 委員 玉城健一郎委員と同じく抗議すべきと考える。昨年9月、10月には外来機飛来が50~60件程度だったが、11月には200件を超える飛来があり、これまでもこのような状況の際には抗議をしているので、ぜひ抗議すべきと考える。委員におかれては、各会派に持ち帰って、抗議する内容と宛先等を検討いただきたい。
- 桃原朗 委員 本日の委員会招集の経緯について伺いたい。
- 石川慶 委員 市民よりジェット機の騒音等について相談があり、議会はどういう対応をしているのかという意見もあり、会派の中で相談し、このような状況下においては基地関係特別委員会を開催し早急に対応すべきという結論になった。また、この件に関しては市長もすでに抗議をしていることから、市議会としても対応をすべきということで委員会の招集を要請した。
- 真喜志晃一 委員 これまで議会では、抗議行動以外にどのような対応をしてきたのか。
- 玉城健一郎 委員 オスプレイ配備の際には議会でデモを行ったことがある。
- 桃原朗 委員 騒音が激しいのは事実であり、石川慶委員からの提案により、絆クラブとしても会派に持ち帰って抗議の方向で相談したいと思う。ぜひ、全会一致で抗議をしたいと考えるため、文案等を委員会で検討していただきたい。
- 玉城健一郎 委員 こういう場合、臨時会を開くことになるのか。
- 知名康司 委員長 文案の作成という点で、正副委員長と事務局で文案を作成するのに来週末あたりまでかかり、その上で委員会にて検討することになる。その際に会派持ち帰りとなる可能性が高いため、それなりの時間がかかると考える。
- 石川慶 委員 定例会という案もあるが、可能ならば早めに上程したほうが良いと考える。市長もすでに抗議で意思を示しており、議会としても早急に抗議をしたいと考えるため、定例会に限定せずに進めてもらいたい。
- 事務局 本件を委員会で取り扱うこと、抗議を行うことが決まれば、次のステップとして正副委員長、事務局でたたき台となる文案を作成することになると考える。
- 知名康司 委員長 では本件は、委員会で取り扱うこととし、抗議を行うために意見書等の文案を作成していくということでよいか。
- (「異議なし」という者あり)
- 知名康司 委員長 次回の委員会は、平成31年2月18日(月)の午後1時15分に行うということでよいか。
- (「異議なし」という者あり)

【協議結果】

本件を基地関係特別委員会で取り扱い、抗議のための意見書等を作成していくことに決定する。

○知名康司 委員長 以上をもちまして、本日の委員会を閉会いたします。

閉会時刻（午前 11 時 08 分）